

【会議録】

会 議 名	行政情報システム仮想化基盤更新業務委託事業候補者選考委員会（第2回）
開 催 日 時	平成31年2月7日（木）13時30分から14時30分まで
開 催 場 所	港区役所5階512会議室
委 員	<出席者> 5名 水野委員長、北本副委員長、内田委員、南委員、川口委員 <欠席者> なし
事 務 局	総務部 若杉情報政策課長、荒川情報政策担当係長、大河内情報政策担当係長、 情報政策担当 角田、千代靄
会 議 次 第	1 開会 2 第一次審査評価の集計結果について 3 第一次審査通過事業者の決定について 4 第二次審査について 5 今後のスケジュールについて 6 閉会
配 付 資 料	<事前配布> ・資料1 第一次審査集計結果 ・資料2 第二次審査提案説明（プレゼンテーション及びヒアリング）概要（案） ・資料2-2 提案説明（プレゼンテーション及びヒアリング）について（案） ・資料3 今後のスケジュール ・参考資料1 採点基準表（一次審査） ・参考資料2 第1回行政情報システム仮想化基盤更新業務委託 事業候補者選考委員会議事録

会議の結果及び主要な発言

	<p>1 開会 (事務局から配布資料の確認及び「参考資料1 採点基準表(一次審査)」について説明。)</p>
委員長	<p>2 第一次審査評価の集計結果について (事務局から「資料1 第一次審査集計結果」について説明。) それでは意見交換を行います。採点内容についての説明、或いは、採点内容に対する意見などをお聞かせください。</p>
B委員	<p>私は、「2年程度」は制約に当たる可能性があるのではということ、2年の根拠について確認したいと思います。 また、要求事項の調達要件 4.2.8.4「セキュリティ案件－ウイルス対策」ですが、侵入対策が表記されていなかったため、点数を半分としています。 調達要件 5.1.2「設計・開発業務一次期仮想化基盤の設計」ですが、区で提示しているドキュメントが網羅されるかというところが不明だったので、点数を半分にしました。提案事項の調達要件 4.2.1.7 についてですが、ハードウェア要件は7台から5台に減っていますので20点です。最後に、提案事項第5章次期仮想化基盤構築業務の移行作業要件「OSの払い出しのタイミングが10月か7月ということ、3ヶ月以下の日数に当たるので30点をつけています。</p>
D委員	<p>提案書の基本的な考え方や具体策を拝見して、かなり区のことを理解した上で提案されているのかなと思いました。ほぼパーフェクト要求に答えられているので、点数も満点に近い点数をつけております。</p>
C委員	<p>私もいくつか中間点をつけましたが、これらについては第二次評価のプレゼンの際に、改めて事業者の確認をしたいところです。 また、技術的な話ではなく、要求事項の調達要件 5.4.1の「次期仮想化基盤保守業務・次期仮想化基盤更改時の引継ぎ」で、言い回しの問題かもしれませんが、ドキュメントの開示について「必要に応じて開示」という書き方がされていたので、そこが少し気になりました。本来、ドキュメントは委託契約になり、港区に納品するものですので、後の事業者に不利益になるような活動はしないでください、ということプレゼンの場でもお伝えしようと思います。</p>
E委員	<p>全体的に要求事項を満たしていると思います。皆さんがいい点数をつけている中で、私だけ中間点をつけているところが何ヶ所ありますが、これらはプレゼンのときに、心配な点を確認し補充すればいいと思います。評価として悪いということはありませんでした。</p>
A委員	<p>私も要求事項の調達要件 4.2.2.3 仮想サーバ要件の利用期間を5点にしました。「予定が早まれば2年程度前に」などと書いてあり、若干違和感を覚えました。しかし、それ以外については非常に模範的で完成度の高い回答をしていると思いましたので、ほぼ一番上か、上から二つ目の点数をつけています。</p>
C委員	<p>要求事項の調達要件 4.2.2.3 についてですが、制約と捉えてしかるべきと私も認識しましたので、この制約について、このビジネスモデルはどんなものかを直接お聞き</p>

A委員	<p>したいと思います。</p> <p>「制約はここまでにします」という意図が聞けたらいいと思います。それは我々にとって制約がないにほぼ等しいという評価になればいいかと思いますので、必ず聞くようにします。</p>
C委員	<p>価格について、当初の想定額から大きく乖離しているように見えます。これは事業者が出している数字なので、それが良い悪いという話にはできないのですが、最初に事業規模を測るときに、費用感というものがうまく情報として収集できなかったのかなと感じました。この辺りが調達プロセス上の今後の課題かと認識しています。</p>
事務局	<p>C委員ご指摘の通り、今回かなり価格の乖離が発生しています。予定価格を設定する際にRFIを多くの事業者に幅広くとりましたが、提示された価格の幅が非常に広く、極端に高いものから低いものまで多数ございました。今回の事業者にも当然、情報提供依頼をしておりますが、これより高い事業者がほとんどでした。</p> <p>港区の場合、競争性を担保する形でシステムアセスメントの中評価していくという方法をとっていますが、結果として大きな価格差がある場合にどう評価していくかということは、調達の課題というご意見もありましたので、また運用改善を図っていきえるように考えていきたいと思っています。</p> <p>採点結果です。一次審査の評価点の書類審査の得点が3589点となります。ワークライフバランスの加点が5%で計3768点ということで、満点に対する割合としては81.9%となりました。</p>
委員長	<p>3 第一次審査通過事業者の決定について</p> <p>第1回選考会の資料6「事業候補者の選考と評価」にて、第一次審査の通過者は最大3者程度としております。今回提案があった事業者は1者となっております。</p> <p>この事業者を第二次審査に進めるということで、皆さまよろしいでしょうか。</p>
一同 委員長	<p>異議なし</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それではご審議の結果、第一次審査通過者は事業者番号3とします。</p> <p>次に、次第4「第二次審査」につきまして事務局から説明をお願いいたします。</p>
委員長	<p>4 第二次審査について</p> <p>(事務局から「資料2 第二次審査提案説明(プレゼンテーション及びヒアリング)概要(案)」について説明)</p> <p>今の説明について何かご意見、ご質問等がありますか。</p> <p>事前質問は2月14日までということですが、もしもこの場で聞いておくべきことがあるれば、それはぜひ忘れないで聞くこととします事務局側の感想等がありましたら、聞かせてください。</p>
事務局	<p>事務局としても、提案内容がよく書き込まれており、区の実情もよく理解しているということで、事業の実施内容について事務局としては特に不安はない印象です。しかし、実施体制については、プレゼンテーションの場で確認できればと思います。現在区で従事しているSEが従事するという事になっていきますので、十分遂行できるのかという視点です。</p>
A委員	<p>私としては、要求項目が多いですが、事業者がこのプロジェクトの中で一番注意すべきポイントはどこかを聞いてみたいです。</p>

B委員	私は、提案項目を実施したとして、他にリスクはないか確認したいです。検知対策等です。
D委員	SE 業界は人手不足ですので、体制の確認はしっかりしたいところです。兼務ということもありえますので。
C委員	体制については私も確認したいところですが、どこまで是正を促せるのか気になります。「体制が薄いのではないか」と質問して、「大丈夫です」と言われたら悩ましいところです。我々が伝えられるメッセージとしてどういうものが響くのか悩むところですが、事務局側では何か考えやアイデアはありますか。
事務局	既存事業者ですが、現在までの業務の履行状況は良好ですので極端にリスクがあるとは捉えていません。もし契約ということになれば契約書を交わしますし、プレゼンの中で体制についての確認ができれば、それはそれなりの担保になると考えます。
A委員	そうですね。プレゼンの中で答えたことを契約書なりにフィードバックできればいいと思います。
事務局	<p>二次審査の評価表についてご説明します。</p> <p>大きく分けて5項目あります。配点はそれぞれ80点、合計400点です。</p> <p>1つ目は全体像の把握についてです。区の趣旨を理解し、将来性を考慮した内容になっているか。雛形的な内容でなく、港区の現状、運用を踏まえているかです。</p> <p>2つ目はプレゼンの説明についてです。説明に曖昧な内容がなく、適切かつ明確な用語や表現で根拠を示しているなど、信頼性がある内容か、課題の先延ばしや不確実性を含む説明がないか。不確実性を含む場合は、その根拠は示されており、妥当な内容となっているかです。</p> <p>3つ目は提案内容の実現性についてです。プロジェクトのパートナー、会社、もしくは担当者、それぞれがプロジェクト遂行の能力を有するか。また、提案書のシステム構成に矛盾なく、無理なく実現可能な構成になっているかです。</p> <p>4つ目は質問に対する対応についてです。質問に対して積極的かつ意欲的に対応しているか、また、委員からの質問の意図、目的を理解し、的確かつ信頼できる内容で評価できる回答がなされたかです。</p> <p>5つ目はその他提案についてです。何か提案内容に制約を加える重大な前提条件や、区への課題のリスク転嫁が存在せず、全体を通して確実かつ適切にプロジェクトを遂行することができるか、また、その他業務効率化の推進や、区民サービスの向上等の観点から有用な付加価値提案があるか。さらに、業務実施への積極的な意欲が見られ、柔軟に富んだ誠実な遂行が期待できるかです。</p>
委員長	それではこの内容で第二次審査を実施し、第一次審査通過事業者へ通知することを決定してよろしいでしょうか。
一同	異議なし
委員長	ありがとうございます。
委員長	<p>5 今後のスケジュールについて (資料3について事務局から説明)</p> <p>それでは第2回港区行政情報システム仮想基盤更新業務委託事業候補者選考委員会を終了いたします。本日はお忙しいところどうもありがとうございました。</p>

6 閉会